

# 《救急編》

### 1 救急概況

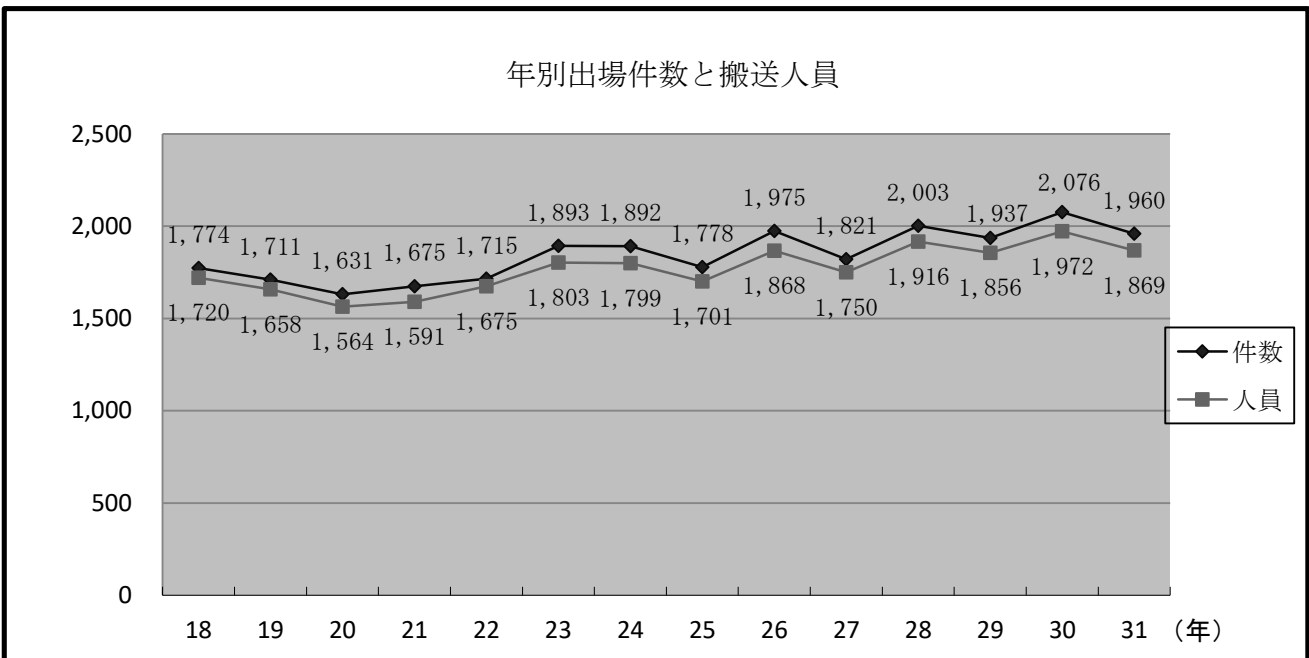
西予市消防本部管内の救急医療体制は、二次救急病院の市立(西予市民・野村)病院が隔日当番医制で対応している。しかし、総合的医療施設が無いため管外への転院搬送が多く、救急車が長時間にわたり管内不在となる場合がある。

救急車両については、高規格救急車を本署に2台、野村支署、明浜救急出張所、城川救急出張所にそれぞれ1台、予備車を本署に1台配備している。

救急隊及び准救急隊は、救急救命士25人、救急Ⅱ課程修了者9人、救急科(救急標準課程)修了者31人、准救急科修了者8人の計73人の職員で運用している。救急救命士については、気管挿管認定救命士19人(うちビデオ喉頭鏡認定救命士17人)、薬剤認定救命士24人、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与認定救命士24人が登録されている。

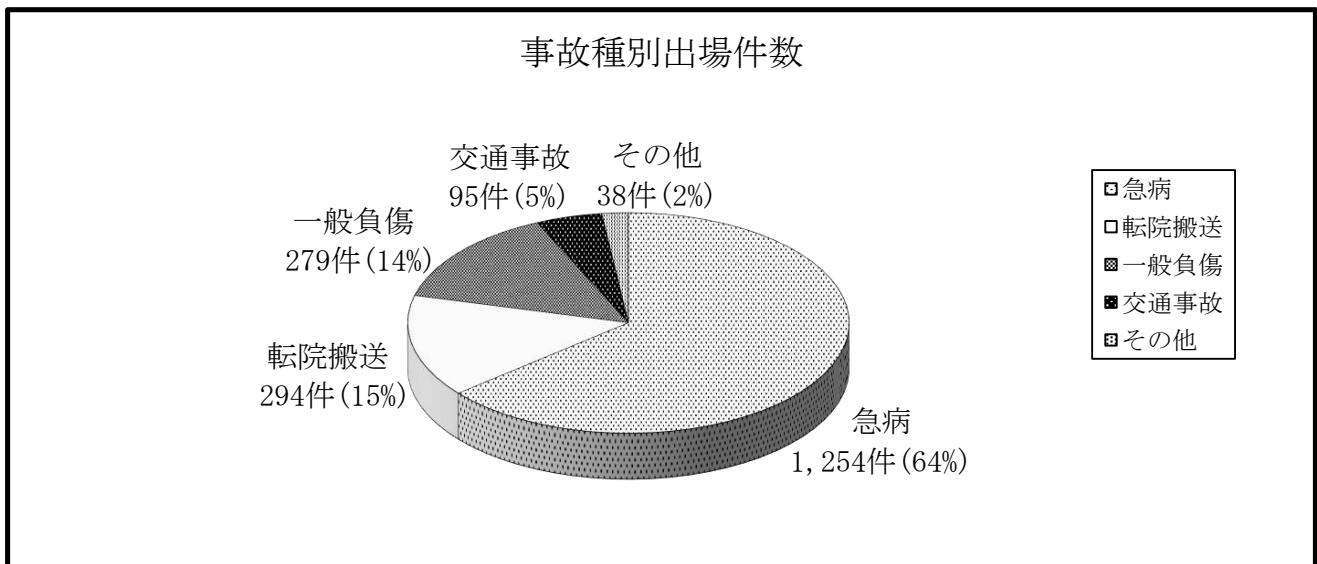
### 2 年別救急発生状況

平成31年・令和元年中の救急出場件数は1,960件(前年比116件減)、搬送人員は1,869人(前年比103人減)で、救急件数及び搬送人員ともに減少した。



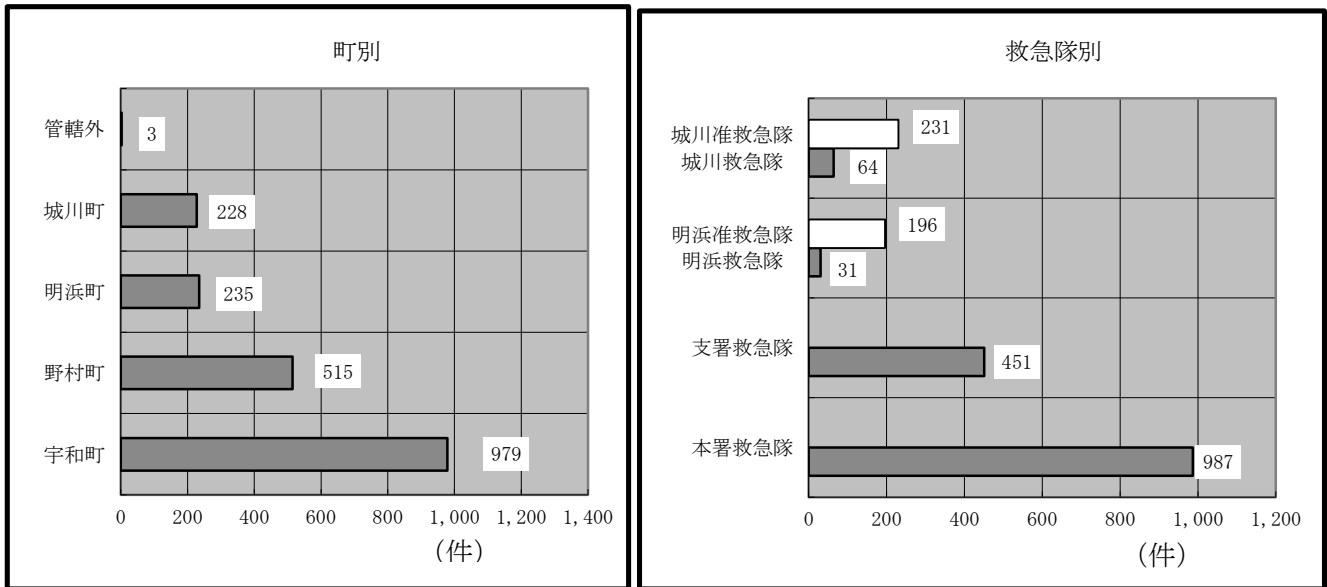
### 3 事故種別救急発生状況

事故種別で最も多いのは、急病の1,254件(前年比52件減)で、次いで転院搬送の294件(前年比30件減)、一般負傷の279件、交通事故の95件(前年比11件減)となっており、急病による出場件数が6割を占めている。



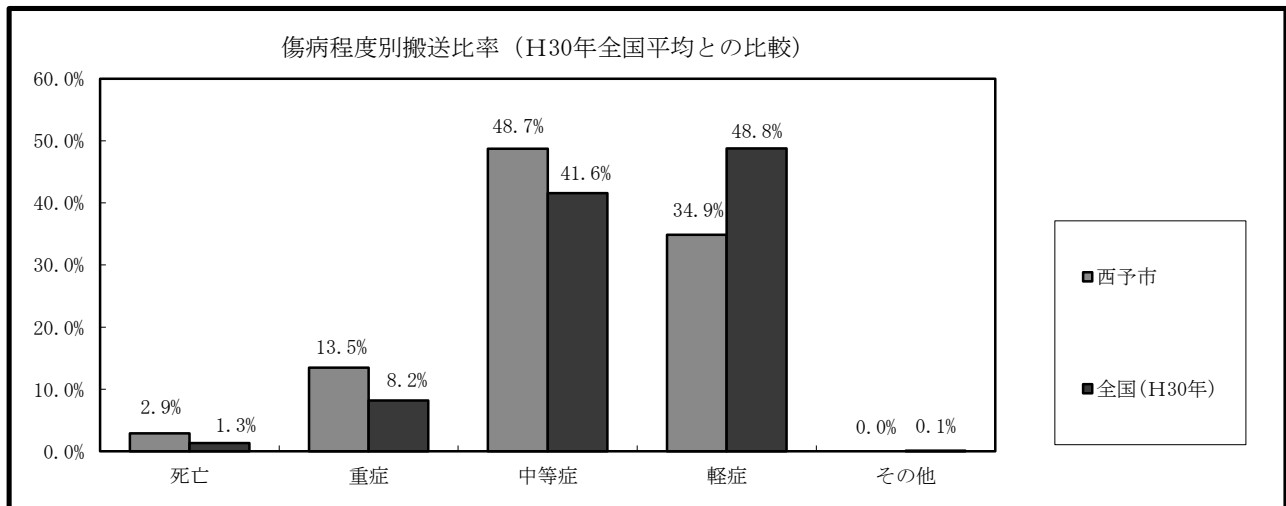
#### 4 町別救急隊別救急発生状況

町別では、宇和町で979件発生しており全体の約50%を占めている。救急隊別では、本署救急隊が987件(50.4%)、支署救急隊が451件(23.0%)となっている。平成30年4月より運用を開始した准救急隊については、城川准救急隊が231件(12%)、明浜准救急隊は196件(10%)と各出張所の約8割に出場している。



#### 5 傷病程度別救急搬送人員

傷病程度別の搬送人員状況は、死亡54人(2.9%)、重症252人(13.5%)、中等症911人(48.7%)、軽症652人(34.9%)となっており、平成30年の全国平均と比較して軽症が少なく、中等症以上で多くなっている。



#### 事故種別傷病程度別救急搬送人員

種別	合計	死亡		重症		中等症		軽症	
	人数	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%	人数	比率%
火災	1			1	100%				
自然災害									
水難事故									
交通事故	95			5	5.3%	28	29.5%	62	65.3%
労働災害	12	1	8.3%	2	16.7%	3	25.0%	6	50.0%
運動競技	5					2	40.0%	3	60.0%
一般負傷	268	2	0.7%	22	8.2%	138	51.5%	106	39.6%
加害	5					3	60.0%	2	40.0%
自損行為	8	2	25.0%	4	50.0%	1	12.5%	1	12.5%
急病	1,180	47	4.0%	120	10.2%	557	47.2%	456	38.6%
その他	295	2	0.7%	98	33.2%	179	60.7%	16	5.4%
計	1,869	54	2.9%	252	13.5%	911	48.7%	652	34.9%

(注) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

## 6 急病患者の疾病分類と傷病程度別救急搬送人員

急病患者の疾病分類では、循環器系340人(前年比43人減)が最も多く、次いで呼吸系182人(前年比27人増)となっており、精神系と感覚系及び診断名不明以外で中等症の割合が高くなっている。

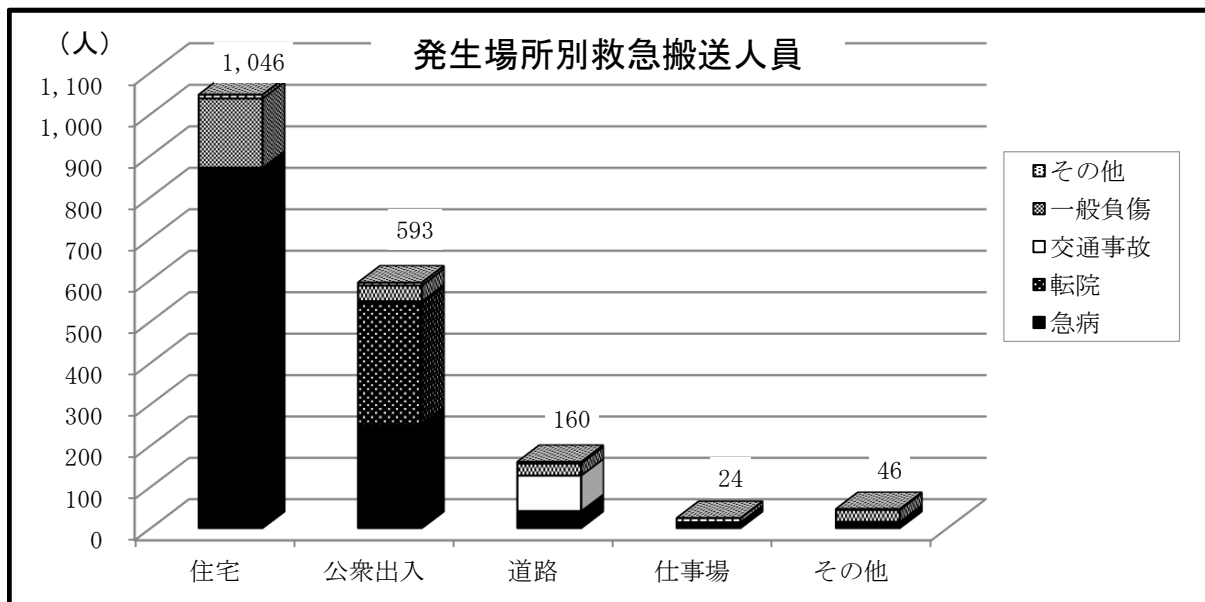
### 急病患者の疾病分類別傷病程度別搬送人員

		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	計	
循 環	脳疾患	1	34	95	34	164	13.9%
	心疾患	27	51	60	38	176	14.9%
消 化 系		3	10	86	43	142	12.0%
呼 吸 系		4	15	110	53	182	15.4%
精 神 系				6	16	22	1.9%
感 覚 系				17	38	55	4.7%
泌 尿 系		1	2	33	28	64	5.4%
新 生 物		2	3	8	2	15	1.3%
そ の 他		9	5	133	194	341	28.9%
診 断 名 不 明				9	10	19	1.6%
計		47	120	557	456	1,180	(人)

## 7 発生場所別救急搬送人員

発生場所別救急搬送人員は、住宅が1,046人(56%)、公衆出入場所が593人(31.7%)、道路が160人(8.6%)、仕事場が24人(1.3%)、その他の場所が46人(2.5%)となっている。

住宅では急病が最も多く、公衆出入場所では転院搬送が多くなっている。



## 8 過去5年間の町別救急発生状況

出場件数1,960件の町別状況では、宇和町979件(49.9%)、野村町515件(26.3%)、明浜町235件(12.0%)、城川町228件(11.6%)、管外3件と、宇和町での出場が半数を占めている。

人口比の利用率では、明浜町が13.0人に1人と最も高く、次いで城川町の14.1人に1人、野村町の15.1人宇和町の17.0人に1人の順となっている。

### 町別 出場件数(5年間)

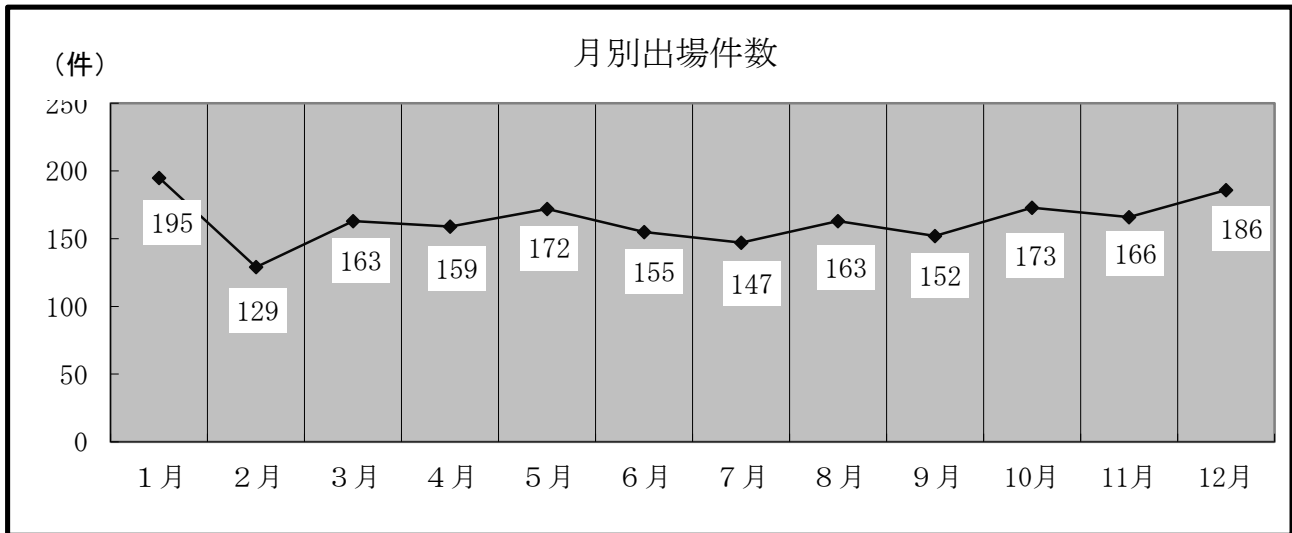
(人口：令和元年12月末現在)

暦年 町別	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成31年		人口比 利用率	H31年 人口
	件数	比率%	件数	比率%	件数	比率%	件数	比率%	件数	比率%		
明 浜 町	185	10.2%	236	11.8%	192	9.9%	257	12.4%	235	12.0%	13.0 人/件	3,056
宇 和 町	904	49.6%	1039	51.9%	994	51.3%	1,068	51.4%	979	49.9%	17.0 人/件	16,613
野 村 町	526	28.9%	523	26.1%	552	28.5%	558	26.9%	515	26.3%	15.1 人/件	7,752
城 川 町	202	11.1%	200	10.0%	194	10.0%	189	9.1%	228	11.6%	14.1 人/件	3,214
管 外	4	0.2%	5	0.2%	5	0.3%	4	0.2%	3	0.2%		
計	1,821		2,003		1,937		2,076		1,960		15.6 人/件	30,635

(注) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合があります。

## 9 月別救急発生状況

月別では1月が最も多く195件、次いで12月で186件と多くっており、冬季での救急需要が多い。

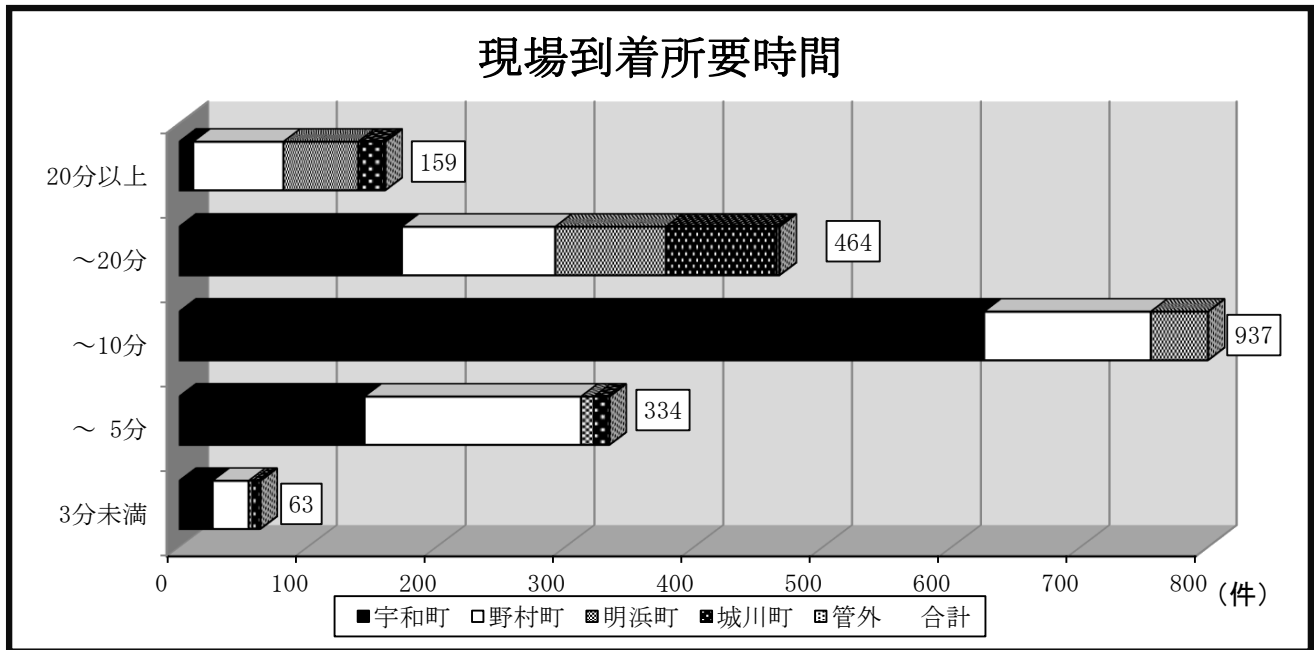


## 10 現場到着所要時間状況 (入電～現場到着)

現場到着の平均時間は9分17秒で、平成30年全国平均(8分42秒)より35秒遅い。しかし昨年平均より37秒短縮しており、要因として各町における、救急車24時間運用開始による効果と思われる。

時間別の状況では、5～10分未満が937件で最も多く、全体の47.8%となっている。

町別では、宇和町で7分13秒と最も早くなっている。平成30年4月より24時間救急出張所の運用を開始した明浜町では13分44秒(平成30年17分42秒)で昨年比3分58秒の短縮。城川町では10分30秒(平成30年11分59秒)で昨年比1分29秒の短縮と、両町とも大幅な救急車現場到着時間の短縮がみられた。



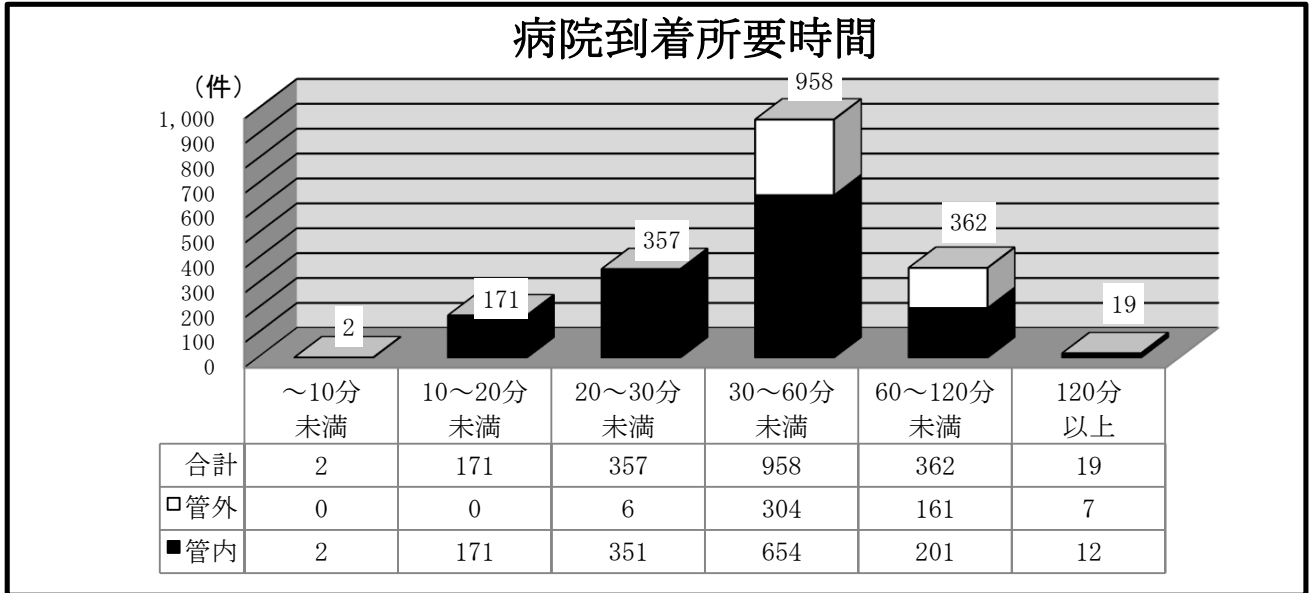
町別平均所要時間 宇和町(7分13秒) 野村町(10分34秒) 明浜町(13分44秒) 城川町(10分30秒)

### 町別現場到着所要時間状況

	宇和町	野村町	明浜町	城川町	管外	合計	%
3分未満	26	28	3	6		63	3.2%
～5分未満	144	168	10	12		334	17.0%
～10分未満	625	130	78	104		937	47.8%
～20分未満	173	119	86	86	2	466	23.8%
20分以上	11	70	58	20	1	160	8.2%
計	979	515	235	228	3	1,960	(件)

### 11 病院到着所要時間状況(入電～病院到着)

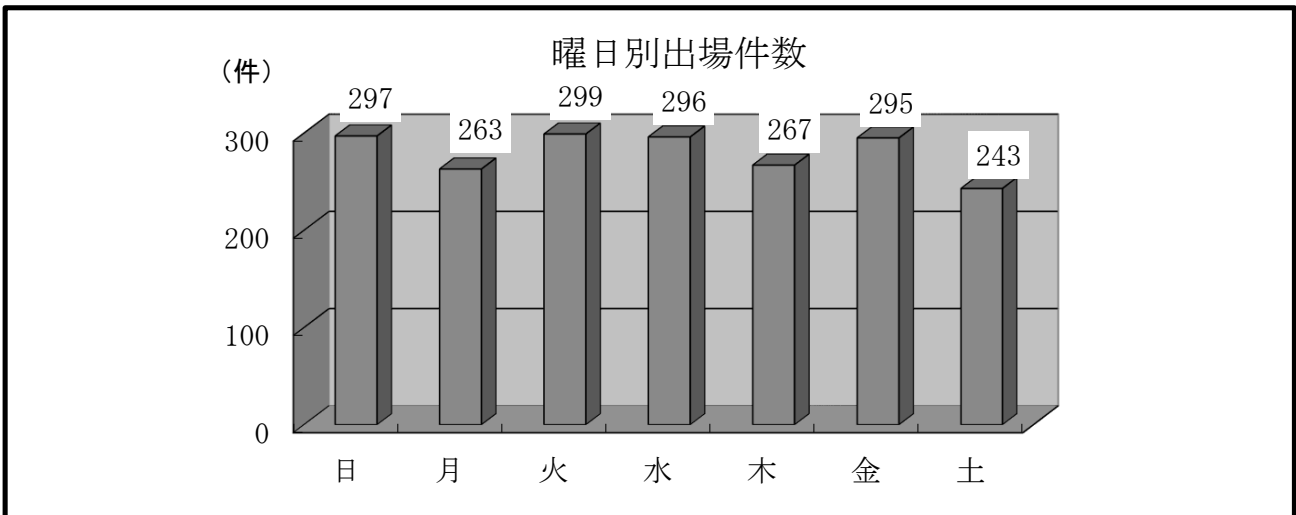
病院到着所要時間で最も多いのは、30～60分未満の958件となり、全体の51.3%となっている。病院到着の平均時間は44分19秒で、平成30年全国平均(39分30秒)より4分49秒遅い。



病院到着平均所要時間 44分19秒

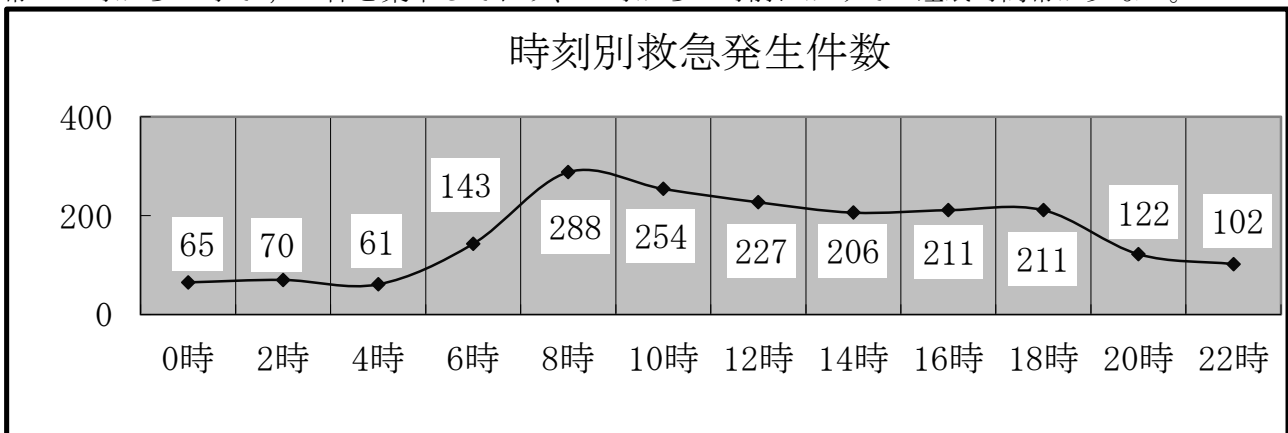
### 12 曜日別救急発生状況

曜日別で多いのは火曜日の299件で、次いで日曜日の297件となり、少ないのは土曜日の243件である。



### 13 時刻別救急発生状況

例年のおおり、生活時間帯と睡眠時間帯に分かれた傾向になっているが、最も多い時間帯は、生活時間帯の6時から20時で1,662件と集中しており、22時から6時前にかけての睡眠時間帯が少ない。



#### 14 救急隊員が行った応急処置状況

応急処置を対象とする傷病者は1,869人であり、処置別では、血中酸素飽和度測定1,797件(前年比149件減)と血圧測定1,784件(前年比112件減)は、応急処置を施した傷病者に対して、96%以上実施している。

また、心肺蘇生は62件実施しており、救急救命士の特定行為については、除細動3件、血糖測定29件、静脈路確保29件を実施し、さらに気管内挿管7件を行っている。薬剤投与に関しては、アドレナリン投与6件、ブドウ糖4件を行っており、前年に比較して特定行為処置件数は増加している。

救急隊員が行った応急処置状況

	急病	交通	一般	転院	その他	計
応急処置対象人員	1,180	94	269	294	32	1,869
止血	5	4	32	1	4	46
固定	4	30	34	4	3	75
人工呼吸	3			1		4
心肺蘇生	55		4		3	62
うち自動心マッサージ	6				1	7
酸素吸入	380	8	32	76	6	502
気道確保	77		6	2	5	90
経鼻・経口エアウェイ	6				1	7
喉頭鏡、鉗子	6		1			7
食道閉鎖式エアウェイ						
気管内挿管	6		1			7
保温	7	1	3	4		15
被覆	3	16	71		7	97
在宅療法処置継続	66			4		70
血圧測定	1,109	92	263	290	30	1,784
聴診器	569	49	51	51	7	727
血中酸素飽和度測定	1,120	94	263	291	29	1,797
心電図	698	11	55	157	14	935
除細動	3					3
心停止後静脈路確保	12		1			13
心停止前静脈路確保	12	1	2		1	16
薬剤投与	6					6
血糖測定	28		1			29
ブドウ糖投与	4					4

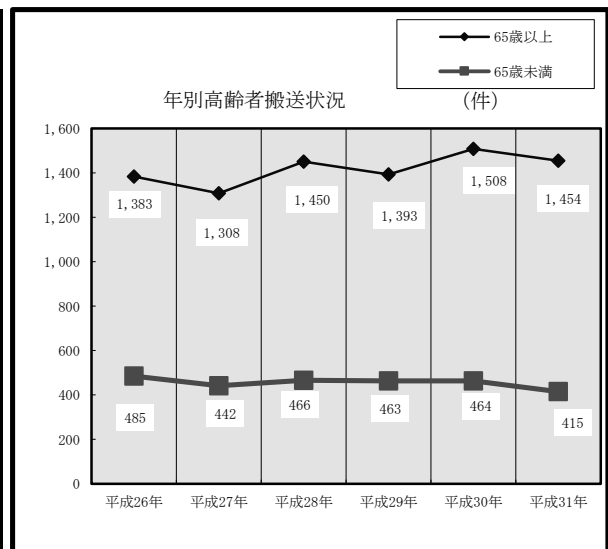
#### 15 年齢区分別救急搬送人員

年齢区分では、高齢者(65歳以上)の1,454人(77.8%)が多く、次いで成人(18歳～64歳)の341人(18.2%)、乳幼児、少年の順となっている。

過去、5年間と比較しても、65歳未満はほぼ横ばいで推移しているが、高齢者搬送の割合ついて、増加傾向にある。

年齢区分別救急搬送人員

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計
火災					1	1
自然災害						
水難事故						
交通事故		3	8	37	47	95
労働災害				9	3	12
運動競技			2	3		5
一般負傷		4	3	36	225	268
加害				3	2	5
自損行為			1	4	3	8
急病	1	34	14	193	938	1,180
その他		1	3	56	235	295
年齢別合計	1	42	31	341	1,454	1,869



## 16 病院等所在地別及び収容機関別救急搬送人員

病院等所在地別及び収容機関別救急搬送人員では、管内搬送が1,378人(前年比133人減)、管外搬送が477人(前年比37人増)、ドクターヘリ・防災ヘリ引継ぎが14人(前年比7人減)となっている。

管内では二次救急当番医(西予市民・野村病院)が1,359人(全体の72.7%)となっており、管外では、市立宇和島病院が370人で管外搬送の77.6%を占め、次いで大洲喜多医師会病院が44人で9.2%、県立中央病院が20人で4.2%となっている。

### 病院等所在地別搬送状況

所在地		管轄	本署	支署	明浜 出張所	城川 出張所	合計	比率%	病 院 名	救急 告示	開設者
管内 搬 送	明 浜 町				1		1	0.1%	あじき医院	その他	私 的
	宇 和 町	472	85	95	56	708	37.9%	西予市民病院	告示	公 立	
		14	1	1	1	17	0.9%	近藤医院、山下小児科 他	その他	私 的	
	野 村 町	226	204	44	177	651	34.8%	野村病院	告示	公 立	
				1			1	0.1%	井関整形外科	その他	私 的
城 川 町											
小計A			712	291	141	234	1,378	73.7%	管内病院合計		
			74.9%	69.0%	68.4%	80.7%					
管 外 搬 送	宇 和 島 市	186	92	54	38	370	19.8%	市立宇和島病院	告示	公 立	
			2	2		4	0.2%	南予救命救急センター	告示	公 立	
		3	1	5		9	0.5%	独立行政法人宇和島病院	告示	公 的	
		7		1	1	9	0.5%	徳洲会病院、吉田病院 他	告示他	私 的 他	
	小計(a)		196	95	62	39	392	21.0%	(宇和島市合計)		
	八 幡 浜 市	2		1		3	0.2%	八幡浜市立総合病院	告示	公 立	
		2	1			3	0.2%	双岩病院 他	その他	私 的	
	小計(b)		4	1	1		6	0.3%	(八幡浜市合計)		
	大 洲 市	23	13		8	44	2.4%	喜多医師会病院	告示	私 的	
		1				1	0.1%	市立大洲病院	告示	公 立	
		1				1	0.1%	大洲中央病院	告示	私 的	
		2	1			3	0.2%	大洲記念病院 他	その他	私 的	
	小計(c)		27	14		8	49	2.6%	(大洲市合計)		
	松 山 市	8	11		1	20	1.1%	県立中央病院	告示	公 立	
			1			1	0.1%	松山赤十字病院	告示	公 立	
2		1			3	0.2%	四国がんセンター 他	その他	私 的 他		
小計(d)		10	13		1	24	1.3%	(松山市合計)			
東 温 市	1	2	1		4	0.2%	愛大附属病院	告示	国 立		
		2			2	0.1%	愛媛医療センター 他	その他	公 立		
小計(e)		1	4	1		6	0.3%	(東温市合計)			
小計B(a~e)			238	127	64	48	477	25.5%	管外病院合計		
			25.0%	30.1%	31.1%	16.6%					
他 の 場 所 C		1	4	1	8	14	0.7%	Drヘリ(13)・防災ヘリ(1)引継ぎ			
合 計 C (A+B+C)			951	422	206	290	1,869				